

議提第4号

北本駅西口駅前広場整備に関する決議

会議規則第14条の規定により、北本駅西口駅前広場整備に関する決議を次のとおり提出する。

平成21年6月23日 提出

提出者	北本市議会議員	桂	祐	司
賛成者	北本市議会議員	中	村	洋子
賛成者	北本市議会議員	湯	澤	清訓
賛成者	北本市議会議員	串	田	英夫
賛成者	北本市議会議員	岸		昭二
賛成者	北本市議会議員	島	野	和夫
賛成者	北本市議会議員	福	島	忠夫
賛成者	北本市議会議員	黒	澤	健一
賛成者	北本市議会議員	阪	井	栄見子
賛成者	北本市議会議員	加	藤	勝明
賛成者	北本市議会議員	横	山	功
賛成者	北本市議会議員	伊	藤	堅治

北本市議会議長 高橋節子様

## 北本駅西口駅前広場整備に関する決議

北本駅西口駅前広場は、近年、送迎車等の増加によって広場内の混雑が著しく、歩行者の安全やバスなどの円滑な運行にも支障が見られる。また、高齢社会の到来に備えた公共空間のバリアフリー化等が緊急の課題となっている。

今回発表された「北本らしい“顔”のJR北本駅西口駅前広場基本計画（案）」（以下本計画という）は、決して広いとは言えない北本駅西口駅前広場に雑木林やイベント広場を配置している。

本計画は、交通結節点における乗換え行動のうち、特に通勤流動等で利用者の移動負担感が高く、9日に1日の割合となる雨天（※1）ピーク時には、自動車交通の集中と混乱が予想される。

本来、郊外駅としての北本駅前広場に求められる機能は、交通結節点が担う最も大切な機能である「乗り換え機能」やアクセス路の整備、駅広場内での円滑な移動を優先して計画すべきである。

駅前広場は、商業集積を図る核となる社会インフラであり、整備後、長年にわたり利用者の乗り換え拠点となると共に、地域の居住者にとっても重要な公共空間となる。百年に一度と言われる経済危機の下、本市においても厳しい財政が予測されるなか、必要にして最小限の投資で整備可能な計画とすることも重要である。

よって北本市は、北本駅西口駅前広場整備に関し、広く市民の声を聴き、コンセプト偏重に陥ることなく、交通結節点として駅前広場のあるべき姿を認識し、事業費の抑制にも配慮しながら、安全、円滑、効率的な交通を確保するための総合的かつ計画的なものとなるよう検討すること。

以上、決議する。

※1（平成19年県央広域消防本部データ・年間天候別日数 雨天39日）

平成21年6月23日

北本市議会